

第1回幼・保・小連携推進協議会



幼・保・小連携推進協議会とは

「第2次相模原市教育振興計画」及び「さがみはら子ども応援プラン」に基づき幼稚園・保育所・認定こども園及び小学校における子どもたちの健やかな学びのために、幼・保・小連携を推進することを目的とし、平成25年に設置されたもの。協議会では、その目的を達成するため、幼稚園・保育所・認定こども園及び小学校における連携の推進について協議する。

お互いの教育・保育を語り合いながら、幼保小連携について協議する充実した会となりました。次回は来年2月を予定しています。

幼保小連携研修から1ヶ月が経ちますが、次回協議日調整中の地区は、日時は決まりましたか？今年度も学校の夏休みを利用して、保育体験を行う地区もあるようです。園校お互いに工夫して時間をつくり、連携を進めていきましょう。

7月1日、第1回幼・保・小連携推進協議会を行いました。幼稚園及び認定こども園代表・保育所代表・小学校長会代表・小学校副校長会代表・行政機関の長が委員として出席しました。これまでの幼保小連携の経過、「令和6年度幼保小連携に関するアンケート」の結果、今年度の主な取組等についての行政説明後、各地区におけるこれまでの連携状況や、幼保小連携及び架け橋期のカリキュラム作成・実施のさらなる推進等について協議しました。

アンケートを見ても、連携が進んできていることを感じる。

アンケート結果では課題が減っているが、もっとこうしたい、こうした方がよいという課題意識は持つべきではないだろうか？

園で行っている教育・保育をもっと語っていく必要があるのではないだろうか？

子どもの生活や学びの連続性を意識することはできるようになっている。次のステップは「活かす」だが、活かすためには何が必要だろうか？

1回目の幼保小連携研修だけは、校長・園長ではなくても、その場で様々なことを決定できる先生が、園校必ず参加するような仕組みにしたい。

1回目の幼保小連携研修で、校長先生から「めざす子ども像」を語ってもらえないだろうか？

完成した架け橋期のカリキュラムをどうしたら学校が活かしていくことができるだろうか？

キャリア教育において、小中学校で「めざす子ども像」や「育みたい力」を共有している。園も協議に参加したら、幼保小中で学びをつなげることができるのではないだろうか？